

情報公開文書

研究の名称	肺 <i>M.abscessus</i> species 症の臨床的検討
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系内科学（一）准教授 猪又峰彦
研究の概要	<p>【研究対象者】 2020年1月1日～2024年12月31日の期間に、あらたに当院で肺非結核性抗酸菌症(肺 NTM 症)ならびに肺 <i>M.abscessus</i> species 症と診断された方。</p> <p>【研究の目的・意義】 非結核性抗酸菌(NTM)は土壌や水回りなどの環境中に存在し、肺 NTM 症という慢性呼吸器感染症を引き起こします。2025年に新たに報告されたところによると、<i>Mycobacterium avium</i> complex(MAC 菌、マック菌)が肺 NTM 症の9割を占め、次に <i>Mycobacterium abscessus</i> species(アブセッサス菌)が続きます。以前の報告では肺 NTM 症の原因菌第2位は <i>M.kansasii</i>(カンサシ菌)であり、アブセッサス菌による呼吸器感染症が増えてきているものと考えられます。アブセッサス菌は肺 NTM 症の治療に重要なマクロライド系抗菌薬に耐性を示す菌が多く、長期間の治療を要する難治な感染症を引き起こします。診断、治療、予後について当院での診療実態を明らかにすることが目的です。</p> <p>【研究の方法】 カルテ情報を用いて臨床的特徴について調査します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2028年03月31日</p> <p>【利益相反の状況】 本研究における必要経費は内科学第一講座の研究費から負担します。研究者と外部企業その他特定の団体との間に本研究に係る利益相反はありません。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究結果については感染症学もしくは呼吸器学に関連した学会、医学雑誌で発表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	研究に用いる情報： 肺 <i>M.abscessus</i> species 症の方：患者ID、患者名、年齢、性別、身長、体重、合併症、細菌検査結果、血液検査結果、画像所見、内視鏡所見、使用抗菌薬、併用薬 肺 <i>M.abscessus</i> species 症以外の肺 NTM 症の方：診断症例数 これらの情報は富山大学外部に送信されることはありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	本研究で取得された情報は富山大学において研究利用されます。 機関の長の職名・氏名：富山大学附属病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。

試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	研究責任者：富山大学学術研究部医学系内科学（一）准教授 猪又峰彦
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 富山大学学術研究部内科学（第一）准教授 猪又峰彦 電話番号：076-434-7287 メールアドレス：minomata@med.u-toyama.ac.jp